

科目名：日本学メソドロジー基盤A／ Basic Methods in Japanese Studies A

曜日・講時：後期 月曜日 1 講時 文学研究科棟 3F 視聴覚教室

セメスター：2 学期， 単位数：2

担当教員：尾崎 彰宏（教授）

使用言語：日本語

1. 授業題目：

東北大発の新領域「日本学」の形成に向けて

2. Course Title (授業題目)：

Toward the new field "Japanese Studies" from Tohoku University

3. 授業の目的と概要：

今日、総じて人文社会科学に対する風あたりは厳しい。しかしネガティブにとらえる必要はかならずしもありません。それだけ人文社会科学に対する期待感があるのだと受けとめています。

日本学はこうした状況の中で現代の課題にどう向きあうのか、そのスタンスを問う研究です。つまり、今日の課題に即して、領域横断型のテーマを設定し、それに応えていく研究のことで。

日本学は読んで字のごとくですが、その内容は従来の日本研究と重なるところがある一方、一般には日本研究とは遠いと考えられていた西洋学も日本学に含まれるところがあります。ものの見方と捉え方などの方法において日本学の重要な要素となりうるのです。

では日本学とは何でしょうか。それはどのように形成される新領域なのでしょう。授業は、芸術を切り口にしたサンプル研究から考えてみます。

日本学のサンプルを提示した後、その理解に基づき、受講者に具体的なテーマに即したレポートを口頭発表してもらいます。

なお、この授業の受講は、日本学国際共同大学院プログラム選抜の要件になっています。

4. 学習の到達目標：

日本学について自力で考えられるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

日本学のサンプルを提示した後、その理解に基づき、受講者に具体的なテーマに即したレポートを口頭発表してもらいます。

詳細は初回講義時に指示します。

6. 成績評価方法：

レポートに基づき、口頭発表を行ってもらう。

その発表に基づき採点する。

7. 教科書および参考書：

参考書などは授業の折に提示する。

8. 授業時間外学習：

参考図書の読解、レポート作成など、かなりの勉強量が必要となります。

9. その他：

初回(10月5日)は Google Meet にてオンライン授業としますので、東北大学の DC アカウントにて以下 URL より参加してください。2 回目からの授業形式については、初回の授業にて通知します。

<https://meet.google.com/lookup/flsh4bx46f?authuser=0&hs=179>

履修登録は以下の Google フォームより 10 月 14 日(水)までに登録してください。

<https://forms.gle/XTYrhV7YApypJJtd6>